

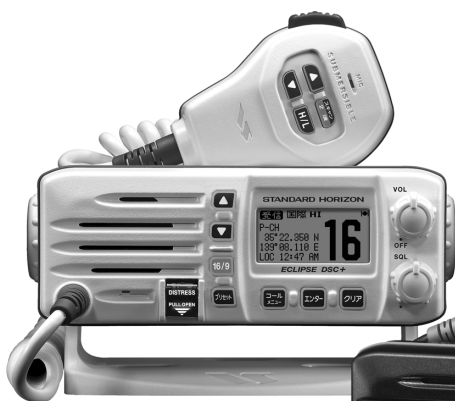
STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

25 Watt VHF FM Marine Transceiver

ECLIPSE+
GX1100J

取扱説明書



【ホワイト】



【ブラック】

**この製品は、船舶共通通信システム 国際VHF無線機です。
ご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。**

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

特長	3	グループコール	24
リセット操作	3	『グループコール』のしかた	24
国際VHF無線局を開局される皆様へ	4	『グループコール』を受けると	25
操作早見表	5	全船コール	26
各部の名称と働き	6	『全船コール』のしかた	26
安全上のご注意	8	『全船コール』を受けると	27
お使いになる前に(準備)	10	位置情報要求	28
無線機の取り付け	10	『位置情報要求』のしかた	28
電源と周辺機器の接続	11	『位置情報要求』を受けると	29
使いかた	12	位置情報送信	30
基本操作	12	『位置情報送信』のしかた	30
送信出力の切り替え	13	『位置情報送信』を受けると	31
その他の機能と操作	14	DSCログ(受信履歴ファイル)	32
プリセットチャンネル	14	DSCログの見かた	32
スキャン操作	16	DSCログの削除	33
2波受信	17	テストコール	34
遭難通報	18	『テストコール』のしかた	34
『遭難通報』の出しかた	18	『テストコール』を受けると	35
『遭難通報』を受信すると	20	セットアップメニュー操作	36
個別コール	22	定格	44
『個別コール』のしかた	22	埋込設置用固定ブラケット“IMB-84”の使いかた	46
『個別コール』を受けると	23	付属品・オプション	47

- 国際VHF規格 総務省技術適合証明取得機種
- DSC機能対応：緊急通信、個別コール、グループコールや、GPS機器との接続により位置情報の通信など便利な機能を使うことができます。
- コンパクトサイズ：幅 155mm、高さ 60mm、奥行き 170mmのコンパクトサイズですので、取り付け場所を選びません。
- 防水対応：荒天候でも安心して使える IPX7 (1m・30分/フロント/パネル) 対応の防水設計です。
- 日本語対応LED照明付きディスプレイ：表示部は日本語に対応したLED照明付きのフルドットマトリックスですので、夜間でも瞬時に動作状態を確認することができます。
- E20対応：新しく採用したイージー・ツー・オペレート(Easy 2 Operate)に対応していますので、操作がとても簡単です。またスタンダードホライゾンの携帯型トランシーバも同じ感覚で違和感がなく操作をすることができます。
- 緊急連絡用チャンネル：非常時、ワンタッチで瞬時に緊急連絡用の16チャンネルと9チャンネルに移動することができる専用チャンネルボタンキーを装備しています。
- 2波受信機能：指定した2つのチャンネルを自動で交互に受信することができます。仲間との連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルを自動で交互に受信できます。
- 専用マイクロホン：手で操作ができる操作キー付きの防水マイクロホンを付属しています。

リセット操作

【プリセットメモリーをすべて消去する】

プリセットメモリーに登録したチャンネルを、一度にすべて消去することができます。

1. **【電源】**ツマミを左方向にまわし切って、一度電源を“OFF”にします。
2. **【プリセット】** ボタンを押しながら**【電源】** ツマミを右方向にまわし、電源を“ON”にします。

【お買い上げ時の状態に戻す】

操作がわからなくなってしまうたり、おかしな動作をするようなときは、下記の操作を行うことにより、すべての設定状態をクリアして、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1. **【電源】** ツマミを左方向にまわし切って、一度電源を“OFF”にします。
2. マイクロホンの**【スキャン(2波)】** ボタンと無線機本体の**【16/9】** ボタンを押しながら**【電源】** ツマミを右方向にまわし、電源を“ON”にします。

国際VHF無線局を開局される皆様へ

八重洲無線の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です。

この製品をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です。

無線申請用紙に必要事項を記入のうえ、国の収入印紙(県の収入印紙は認められません)を添付し、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局(沖縄の場合は沖縄総合通信事務所)へ申請書を提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。

無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下の処せられる場合があります。

■ DSC機能をご使用になる場合は、MMSI番号を無線機に登録する必要があります。

DSC機能をご使用になるには、免許状に記載されたMMSI番号(海上識別信号)を無線機に登録する必要があります。

DSC機能は、遭難や緊急時に船舶名や免許人名などの重要な情報を通知するためのものですので、必ず登録をお願いします。

登録方法は43ページに記載していますので、間違いのないよう正しく登録してください。

■ 本機は5年ごとの定期検査が必要です。

本機のように、固定型として使用する無線機の場合、船舶検査と同じように、5年ごとに検査を受けなければなりません。

検査を受ける年度にあたったときには、管理局より通知が届きますので、検査を受けてください。

■ 運用マナーを守って運用してください。

国際VHFはアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

操作早見表

下図の丸数字の番号順に従って操作すると、基本的な運用が行えます。

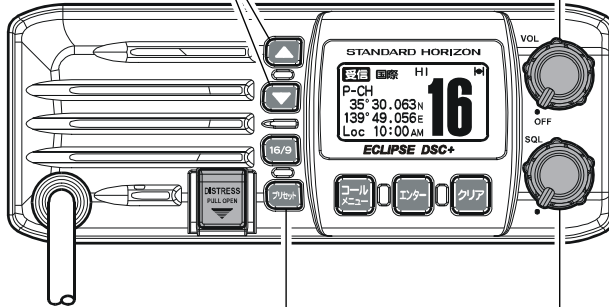
④【チャンネル選択ボタン】

[▼]/[▲]ボタンでチャンネルを選びます。

①【電源ツマミ】

②【音量調節ツマミ】

- 右方向にまわして電源を“ON”にします。
- 聞きやすい音量に調節します。
- 左方向にまわし切ると電源が“OFF”になります。



⑥【プリセットボタン】

- 長く押すと、現在表示されているチャンネルをプリセットチャンネルに登録することができます (最大 10チャンネル)。
- 短く押すと、登録したプリセットチャンネルを順番に呼び出すことができます。

③【スケルチ調節ツマミ】

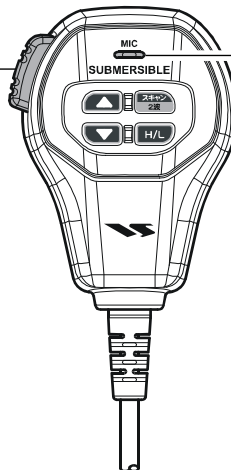
“ザー”という雑音が消える点に調節します。

⑤【送信ボタン(PTT)】

このボタンを押しながら、マイクに向かって話します。相手の話を聞くときは、このボタンを離します。

【マイク】

ここに向かって話します。



各部の名称と働き

【▼/▲ボタン】

- チャンネルを選びます。
- “DSCメニュー” / “設定メニュー” 操作時、各種の項目を選びます。

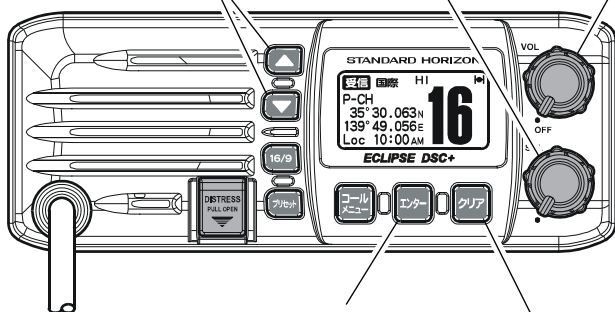
【スケッチ調節ツマミ】

“ザー”という雑音が消える点に調節します。

【電源ツマミ】

【音量調節ツマミ】

電源の“ON/OFF”と受信音量の調節をします。



【エンターボタン】

“DSCメニュー” / “設定メニュー” 操作時に、選択項目の確定を行います。

【クリアボタン】

各種の操作をキャンセルするとき、短く押します。

【マイク】

ここに向かって話します。

【送信ボタン(PTT)】

このボタンを押しながら、マイクに向かって話します。相手の話を聞くとときは、このボタンを離します。

【スキャンボタン】

【2波ボタン】

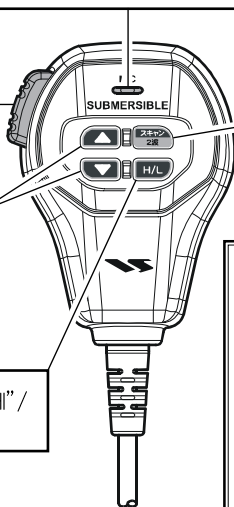
- 短く押すと、スキャン※1が始まります。
- 長く押すと、2波受信※2が始まります。

【▼/▲ボタン】

- チャンネルを選びます。
- “DSCメニュー” / “設定メニュー” 操作時、各種の項目を選びます。

【送信出力切替ボタン】

押すたびに、送信する電波の強さが“HI” / “LOW”の2段階で切り替わります。



スキャン:

あらかじめメモリー(プリセット)したチャンネルを順番に受信し、信号の入感するチャンネルを自動的に探し出す操作です。メモリー(プリセット)できるチャンネルは最大10チャンネルです。

2波受信:

現在表示しているチャンネルと、優先的に受信したいチャンネル(プライオリティーチャンネル)を交互に受信する操作です。プライオリティーチャンネルで信号を受信すると、その信号を受信し続けます。

各部の名称と働き

【16/9 ボタン】

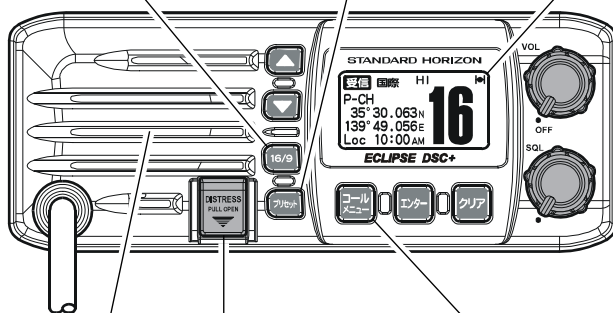
- 短く押すと、緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。
- 長く押すと、呼び出し用チャンネル“CH9”を呼び出すことができます。

【プリセットボタン】

- 短く押すと、プリセットチャンネルを順番に呼び出すことができます。
- 長く押すと、プリセットチャンネルを登録したり、消去したりすることができます。

【液晶ディスプレイ】

運用チャンネルや各種の設定状態などを表示します。



【スピーカー】

ここから相手の声や操作音が聞こえます。

【遭難通報ボタン】

遭難通報を送出します。
赤色のカバーをめくり、**中のボタンを約3秒間押し続けることで、遭難信号が送出されます。**

【コール(メニュー)ボタン】

- 短く押すと、“DSCメニュー”が呼び出されます。
- 長く押すと、“セットアップメニュー”が呼び出されます。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。




注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、は「分解禁止」を示しています。



本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。
たとえば、は「電源ケーブルを外す」を示しています。



警告



分解や改造をしない。

本機は電波法に基づく無線局です。分解や改造をすると違法ですのでおやめください。また、怪我や故障の原因になります。



指定された電源電圧、電流容量以外では使用しない。

火災や感電の原因になります。



“煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。

すぐに電源を切り、本機を電源から外してください。煙や変な臭いなどが出なくなったことをご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店に修理をご依頼ください。










電源ケーブルは、直流電源に直接接続する。

電源ケーブルの延長や継ぎ足しは、火災や故障の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

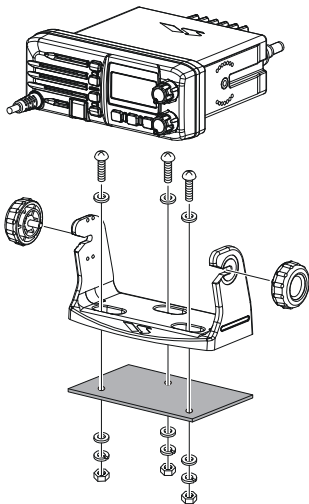
⚠ 注意

-  **強い衝撃を加えない。**
故障の原因になります。
-  **磁気カードなどを本機に近づけない。**
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。
-  **電源ケーブルの上に重いものを載せたり、電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしない。**
電源ケーブルが傷つき、火災や故障の原因になります。
-  **本機を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりしてケガの原因になることがあります。無線機の設置には必ず付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に取り付けてください。
-  **長期間ご使用にならない場合には、安全のため、本機から電源を外してください。**
-  **直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。**
変形や変色等の原因になります。
-  **シンナーやベンジンでケースを拭かない。**
変形や変色等の原因になります。ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

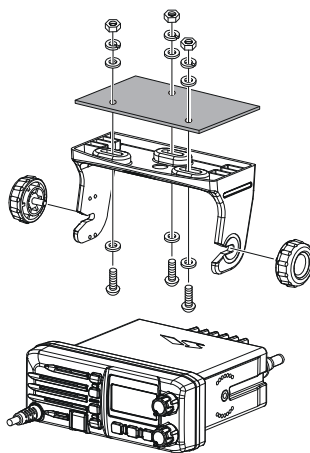
お使いになる前に (準備)

無線機の取り付け

付属の取付用ブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に無線機を取り付けてください。ブラケットの取付方向を変えることにより、「据え置き型」、「吊り下げ型」どちらにも対応することができます。



据え置き型



吊り下げ型

⚠️ ご注意 ⚠️

- 取付位置は、安全と操作性に配慮してください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の付近に設置しないでください。
- 放熱の妨げにならないよう、周囲に十分スペースをとってください。
- 振動等で緩まないよう、ビスやブラケットツマミはしっかり締め付けてください。
- 故障や事故の原因になりますので、付属のビス/ブラケットツマミ以外は絶対にご使用しないでください。

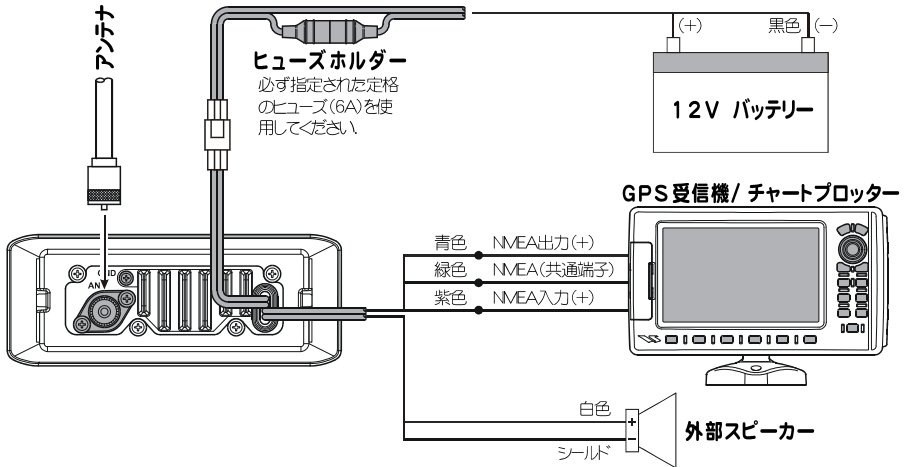
メモ

オプションの埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”を使用すると、本機を船舶の操作パネルに埋め込んで設置することができます。詳しくは46ページを参照してください。

お使いになる前に (準備)

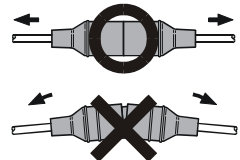
電源と周辺機器の接続

下図を参考に、アンテナ、電源、GPS受信機を接続します(必要に応じて、外部スピーカーを接続することもできます)。



⚠️ ご注意 ⚠️

- 電源は必ず12Vのバッテリーを使用してください。
- 交流電源(AC100V)でお使いになる場合は、オプションの固定用電源“FP-32”をご使用ください。FP-32の詳細な接続方法は、FP-32の取扱説明書をご覧ください。
- アンテナは、50Ωに調整されたVHFマリンバンド用のアンテナを使用してください。
- 外部スピーカー、GPS受信機を接続した際には、接続部分をビニールテープ等でしっかりと防水/絶縁処理を行ってください。
- 本機へ入力可能なNMEA規格は、『NMEA-0183/バージョン2.0以上』で、ボーレートは“4800bps”です。
- 本機が対応しているNMEAセンテンスは、GLL、GGA、RMC、GNSの4通りです(RMCを推奨します)。
- 各ケーブルの配線は、操船に支障のないよう安全と操作性に配慮してください。
- ヒューズを交換する際には、右図(上)に示すように、ヒューズホルダーは左右まっすぐに引っ張って外してください。右図(下)に示したように、ヒューズホルダーに折り曲げるような力が加わると、ヒューズホルダーが壊れたり、接触不良を起こして電源が入らない場合があります。



使いかた

基本操作

1. 【電源/音量調節】ツマミを右回りにまわして、電源を“ON”にします。
2. 【電源/音量調節】ツマミをさらに右回りにまわし、聞きやすい音量に調節します。
3. 【スケルチ調節】ツマミを右回りにまわして、“ザー”という雑音が消える点に調節します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して希望のチャンネルを選びます。
信号を受信すると、ディスプレイに「受信」の表示が点灯します。
5. マイクロホンの【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって話します。
【送信(PTT)】ボタンを離すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。
送信中はディスプレイに「送信」の表示が点灯します。
6. 本機の電源を切るときは、【電源/音量調節】ツマミを左方向にまわしきると、本機の電源が切れます。



GPS表示について

本機にGPS受信機が接続されていないか、接続不良等によりGPSの信号が入力されていない場合には、右に示すように、位置表示(緯度/経度)と時間表示が全て“—”になってしまいます。

このようなときは、本機とGPS受信機が正しく接続されているか、もう一度確認してください。本機がGPSの信号を正しく受信すると、ディスプレイに現在の位置(緯度/経度)と時刻を表示します。

また、何らかの原因で、今まで受信できていたGPSの信号が急に受信できなくなったときには、ディスプレイ右上の“GPS”アイコンが点滅しますので、このような場合も、本機とGPS受信機が正しく接続されているか、もう一度確認してください。

- 本機を初めて使用する場合等、GPSの信号を捕捉するのに数分かかる場合があります。
- 周囲の環境により、位置表示に数百mの誤差を生じることがあります。



ご注意

連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、送信が自動的に停止する10秒前に警告のブザーが鳴り、その後自動的に送信が停止します。

自動的に送信が停止したときには一度【送信(PTT)】ボタンを離し、10秒ほど経ってから再度【送信(PTT)】ボタンを押して送信してください(自動的に送信が停止したときは、送信停止後約10秒間【送信(PTT)】ボタンの操作ができないように設定されています)。

送信出力の切り替え

送信出力(電波の強さ)を“HIGH”/“LOW”の2段階で切り替えることができます。運用規定に則り、設定してください。

- **【H/L】**ボタンを押すと、ディスプレイに「**LO**」の表示が点灯し、送信出力が“1W”になります。
- もう一度**【H/L】**ボタンを押すと、ディスプレイの「**LO**」表示が消灯し、送信出力が“25W”に戻ります。



なお、この設定は、電源を切っても保持されます。

ご注意

- チャンネル“CH15”、“CH17”、“CH75”、“CH76”では、送信出力は自動的に“1W”に設定されます。
- チャンネル“CH16”では、送信出力を変更しても、次に呼び出したときは自動的に“25W”に設定されます。

その他の機能と操作

プリセットチャンネル

よく使うチャンネルを、最大10個までメモリー(プリセット)して使うことができます。

プリセットチャンネルを使うと、普段よく使うチャンネルをすばやく呼び出すことができます。

プリセットチャンネルの設定方法

1. 【▼】/【▲】ボタンを押して、メモリー(プリセット)したいチャンネルを呼び出します。
2. ディスプレイに「**プリセット**」のアイコンとプリセットチャンネル番号「**プリセット0**」が点灯するまで【**プリセット**】ボタンを押し続けます。
これで、表示されているチャンネルが、「**プリセット0**」にメモリー(プリセット)されました。
3. 上記の操作 1. と 2. を繰り返して、他のチャンネルもメモリー(プリセット)します。最大10チャンネルまでメモリー(プリセット)できます。
メモリー(プリセット)するたびに、表示されるプリセットチャンネル番号が
“0” → “1” → “2” → “3” → “4” → “5” → “6” → “7” → “8” → “9”
と順番に変わっていきます。



プリセットチャンネルの使いかた

- 【**プリセット**】ボタンを押すたびに、プリセットチャンネルが順番に呼び出されます。
ディスプレイに「**プリセット**」のアイコンが点灯するとともに、プリセットチャンネル番号を約5秒間表示します。



メモリー(プリセット)したすべてのプリセットチャンネルを呼び出した後、さらに【**プリセット**】ボタンを押すと、「プリセットチャンネルを呼び出す前に使用していたチャンネル」が呼び出されます。
さらに【**プリセット**】ボタンを押すと、再びプリセットチャンネルが順番に呼び出されます。

- プリセットチャンネルを使用しているときに【▼】/【▲】ボタンを押すと、現在表示しているプリセットチャンネルの上(【▲】ボタンを押したとき)または下(【▼】ボタンを押したとき)のチャンネルが表示されます。



その他の機能と操作

プリセットチャンネル (つづき)

プリセットチャンネルの消しかた

プリセットチャンネルは以下の方法で消すことができます。

1. 【▼】/【▲】ボタンを押して、消したいプリセットチャンネルを呼び出します。
注意：プリセットチャンネル番号は、チャンネル呼び出し時に約5秒間だけ点灯します。
2. 【プリセット】ボタンを押し続けると、「プリセット」のアイコンが消えて、消去完了です。



その他の機能と操作

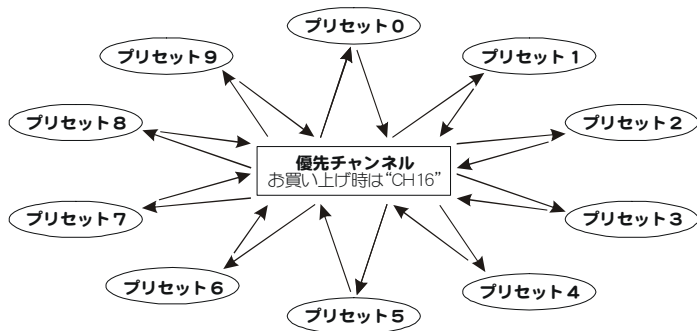
スキャン操作

あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）とプリセットチャンネルを自動的に順番に受信し、信号があるチャンネルを探し出す操作です。

- マイクロホンの【スキャン(2波)】ボタンを短く押すと、あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）とプリセットチャンネルを自動的に順番に受信します。ディスプレイに「P-スキャン」の表示が点灯します。また、プリセットチャンネルを受信しているときには「プリセット」のアイコンが点灯します。



下図に示すように、“優先チャンネル”を間を挟んで、プリセットチャンネルを順番に受信していきます。



- スキャン操作を止めるには、【クリア】ボタンを押します。「P-スキャン」の表示が消えて、通常の運用方法に戻ります。



メモ

- プリセットチャンネルだけをスキャンするように変更できます。詳しくは38ページのセットアップメニュー操作「基本設定(スキャンタイプ)」をご覧ください。
- “優先チャンネル”（プライオリティーチャンネル:お買い上げ時は“CH16”）を変更することができます。詳しくは38ページのセットアップメニュー操作「基本設定(プライオリティーCH)」をご覧ください。

その他の機能と操作

2波受信

あらかじめ設定された“優先チャンネル”と、現在表示しているチャンネルを交互に受信することができます。お買い上げ時とは、“優先チャンネル”は緊急連絡用チャンネル“CH16”に設定してあります。

1. マイクロホン内の【スキャン(2波)】ボタンを長押しすると、現在表示しているチャンネルと“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）を交互に受信します。

ディスプレイに「2波-16CH」の表示が点灯します。

2. “優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）に信号が入ると、その信号を受信し続けます。このとき、チャンネル表示は点滅します。
3. “優先チャンネル”の信号がなくなると、再び2つのチャンネルを交互に受信します。



2波受信を止めて、通常の運用方法に戻すには、【クリア】ボタンを押します。



メモ

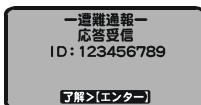
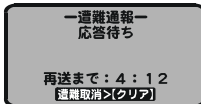
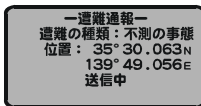
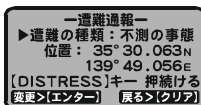
“優先チャンネル”（プライオリティーチャンネル）の変更はセットアップメニュー操作で行います。詳しくは38ページのセットアップメニュー操作「基本設定（プライオリティーCH）」をご覧ください。

遭難通報

『遭難通報』の出しかた

自船で、生命を危険にさらすような状況が生じた場合には、下記の手順で『遭難通報』を送出してください。

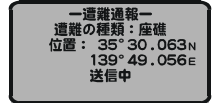
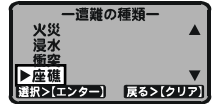
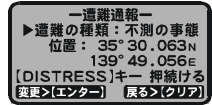
1. **【DISTRESS】**の赤いカバーをめくり、中の**【遭難通報】**ボタンを押し続けます。
ディスプレイの照明ランプが点滅します。
2. **【遭難通報】**ボタンを押し続けると(約3秒間)、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。
3. チャンネルが自動的に緊急連絡用チャンネル“CH16”になり、他船からの応答を待ちます。
他船からの応答が無い場合には、約4分後に再度『遭難通報』を送出します(他船から応答があるまで、自動的に繰り返し『遭難通報』を送出します)。
4. 他船からの『応答メッセージ』を受信すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
5. **【エンター】**ボタンを押します。
6. マイクホンの**【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。
 - 1) メーデー、メーデー、メーデー
 - 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返し反します)
 - 3) メーデー
 - 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
 - 5) 自船の位置(緯度/経度)
 - 6) 遭難の状況
 - 7) 要請する救助次項
 - 8) 救助を待つ人数
 - 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
 - 10) どうぞ



『遭難通報』の出しかた (つづき)

□ 遭難原因を指定して『遭難通報』を送出することができます。

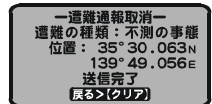
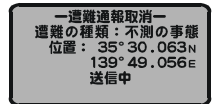
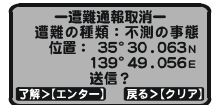
1. **【DISTRESS】**の赤いカバーをめくり、中の**【遭難通報】**ボタンを短く押します。
2. **【エンター】**ボタンを押し、**【▼】**/**【▲】**ボタンを押しで遭難原因を選びます。
『不測の事態』、『火災』、『浸水』、『衝突』、『座礁』、『転覆』、『沈没』、『漂流』、『放棄』、『海賊』、『落水』の中から選びます。
3. **【遭難通報】**ボタンを押し続けます。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。



以後動作は、前ページの操作**3**以降の動作と同じです。

□ 誤って『遭難通報』を送出してしまったときは、他船からの応答を待っている間に(前ページの操作**3**のときに)下記の操作を行い、『遭難通報取消』を送出してください。

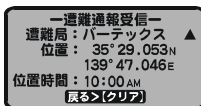
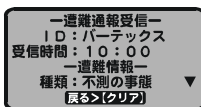
1. **【クリア】**ボタンを押します。
2. **【エンター】**ボタンを押します。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報取消』を送出します。
3. 『遭難通報取消』の送出自が完了すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
4. **【クリア】**ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



遭難通報

『遭難通報』を受信すると...

1. 他船からの『遭難通報』を受信すると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
受信するチャンネルが自動的に、緊急連絡用チャンネル“CH16”に変わります。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のスイッチを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押すと、『遭難通報』を送出した局(船)の位置情報などの詳細情報を見ることができます。
4. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。
5. 必要に応じて、連絡を取ります。



×モ

個別コール

『個別コール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局を個別に呼び出すことができます。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「個別コール」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【エンター】ボタンを押します。

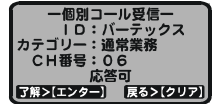
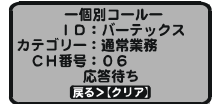
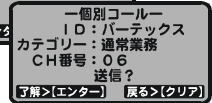
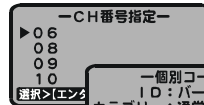
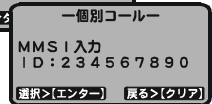
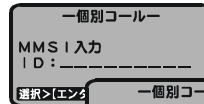
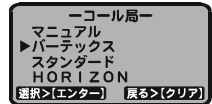
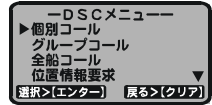
あらかじめ、呼び出したい局（船舶局または海岸局）が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【エンター】ボタンを押し、操作5へ進みます。（登録方法は39ページの“DSC設定（個別アドレス帳）”を参照してください）。

4. 【▼】/【▲】ボタン（数字の選択）と【エンター】ボタン（桁の移動）を操作して呼び出したい局のID番号（9桁）を入力し、【エンター】ボタンを長押しして確定します。
マイクロホンの【H/L】ボタンで桁を戻すこともできます。

5. 【▼】/【▲】ボタンを押して通話チャンネルを選び、【エンター】ボタンを押します。

6. もう一度【エンター】ボタンを押します。
自動的に送信状態になって相手局を呼び出し、その後、呼び出した局からの応答を待ちます。
7. 呼び出した局からの『応答メッセージ』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、チャンネルが自動的に上記の操作4. で設定したチャンネルに移ります。
8. 【クリア】ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。
9. 【エンター】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。

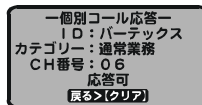
10. マイクロホンの【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出した局と交信します。



『個別コール』を受けると...

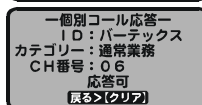
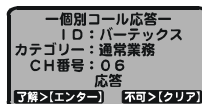
自動応答機能が“ON”の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のD番号(または船名)を表示します。また、チャンネルが自動的に『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。
4. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



自動応答機能が“OFF”の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のD番号(または船名)を表示します。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 応答できないときには**【クリア】**ボタンを押します。『個別コール』を行った局に対して「応答不可」のメッセージを送り、通常の運用方法に戻ります(以上で操作は終了です)。
4. 応答可能なときには**【エンター】**ボタンを押します。チャンネルが自動的に『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わり、『個別コール』を行った局に対して「応答可」のメッセージを送ります。
5. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。
6. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



メモ

自動応答機能の“ON/OFF”切り替えは、セットアップメニュー操作で行います。詳しくは40ページのセットアップメニュー操作「DSC設定(個別コール応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“ON(自動)”に設定されています。

グループコール

『グループコール』のしかた

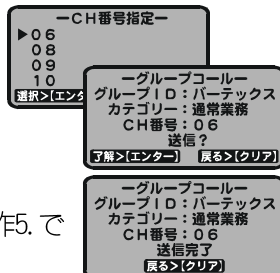
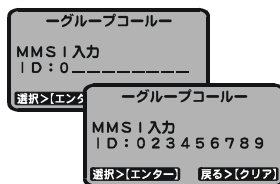
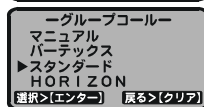
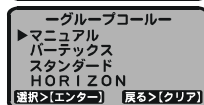
下記の手順で、特定の船舶局または海岸局をグループ単位で呼び出すことができます。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「グループコール」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【エンター】ボタンを押します。

あらかじめ、呼び出したいグループが「グループアドレス帳」に登録してある場合は、そのグループを選んで【エンター】ボタンを押し、操作5へ進みます。（登録方法は41ページの“DSC設定（グループアドレス帳）”を参照してください）。

4. 【▼】/【▲】ボタン（数字の選択）と【エンター】ボタン（桁の移動）を操作して呼び出したいグループのグループ番号（9桁）を入力し、【エンター】ボタンを長押しして確定します（グループ番号は、初めの桁が“0”に固定されます）。
マイクロホンの【H/L】ボタンで桁を戻すこともできます。
5. 【▼】/【▲】ボタンを押して通話チャンネルを選び、【エンター】ボタンを押します。

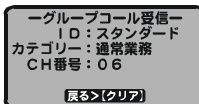
6. もう一度【エンター】ボタンを押します。
『グループコール』を送出し、チャンネルが自動的に上記の操作5.で設定したチャンネルに移ります。
7. 【クリア】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。
8. マイクロホンの【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出したグループと交信します。



グループコール

『グループコール』を受けると...

1. 他船からの『グループコール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイにグループ名(またはD番号)を表示します。また、チャンネルが自動的に、『グループコール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。

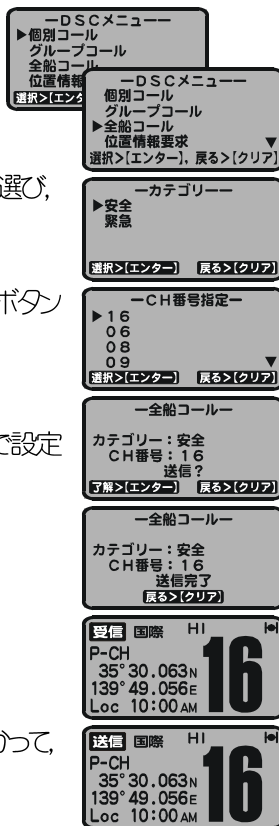


全船コール

『全船コール』のしかた

自船でエンジン・トラブルなどの緊急事態が生じた場合には、下記の手順で『全船コール』を送出して、救援を要請してください。

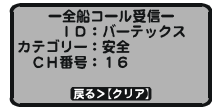
1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「全船コール」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押してカテゴリー（「安全」または「緊急」）を選び、【エンター】ボタンを押します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して通話チャンネルを選び、【エンター】ボタンを押します。
5. もう一度【エンター】ボタンを押します。
『全船コール』を送出し、チャンネルが自動的に上記の操作4. で設定したチャンネルに移ります。
6. 【クリア】ボタンを押します。
ディスプレイの表示が、通常の表示に戻ります。
7. マイクホンの【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。
 - 1) メーデー、メーデー、メーデー
 - 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返し反します)
 - 3) メーデー
 - 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
 - 5) 自船の位置(緯度/経度)
 - 6) 遭難の状況
 - 7) 要請する救助次頁
 - 8) 救助を待つ人数
 - 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
 - 10) どうぞ



全船呼び出し

『全船コール』を受けると...

1. 他船からの『全船コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『全船コール』を行った局の船名(またはID番号)を表示します。また、チャンネルが自動的に、『全船コール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



位置情報要求

『位置情報要求』のしかた

下記の手順で、特定の局(船舶局)の現在位置(緯度/経度)を知ることができます。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「位置情報要求」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【エンター】ボタンを押します。

あらかじめ、現在位置を知りたい局(船舶)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【エンター】ボタンを押し、操作5.へ進みます。(登録方法は39ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【エンター】ボタン(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、【エンター】ボタンを長押しして確定します。
マイクロホンの【H/L】ボタンで桁を戻すこともできます。

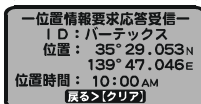
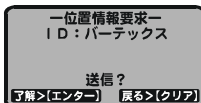
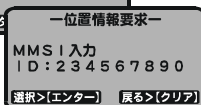
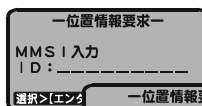
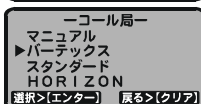
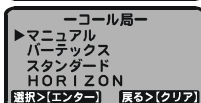
5. もう一度【エンター】ボタンを押します。
『位置情報要求』を送出し、呼び出した局からの応答を待ちます。

6. 呼び出した局から応答があると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに呼び出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。

7. 【クリア】ボタンを押してアラーム音を止めます。

他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。

8. もう一度【クリア】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。

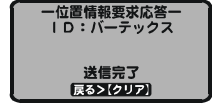
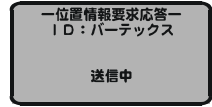


位置情報要求

『位置情報要求』を受けると...

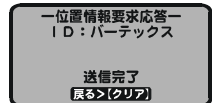
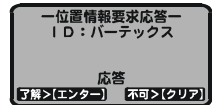
自動応答機能が“ON”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、自船の位置情報を送出します。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



自動応答機能が“OFF”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報要求』を行った局のID番号(または船名)を表示します。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 位置情報を知らせたくないときは【クリア】ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります(以上で操作は終了です)。
4. 位置情報を知らせてもよいときは【エンター】ボタンを押します。『位置情報要求』を行った局に対して自船の位置情報を送出します。
5. **【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



メモ

自動応答機能の“ON/OFF”切り替えは、セットアップメニュー操作で行います。詳しくは42ページのセットアップメニュー操作「DSC設定(位置情報応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“ON(自動)”に設定されています。

位置情報送信

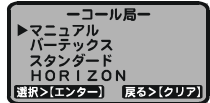
『位置情報送信』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局に、自船の現在位置(緯度/経度)を知らせることができます。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「位置情報送信」を選び、【エンター】ボタンを押します。



3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【エンター】ボタンを押します。



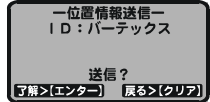
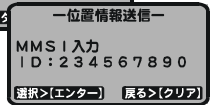
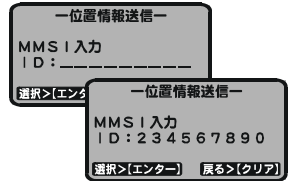
あらかじめ、自船の位置情報を伝えたい相手局(船舶局または海岸局)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【エンター】ボタンを押し、操作5へ進みます。(登録方法は39ページの「DSC設定(個別アドレス帳)」を参照してください)。

4. 【▼】/【▲】ボタン(数字の選択)と【エンター】ボタン(桁の移動)を操作して自船の位置情報を伝えたい相手局(船舶局または海岸局)のID番号(9桁)を入力し、【エンター】ボタンを長押しして確定します。

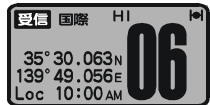
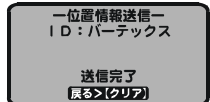


マイクロホンの【H/L】ボタンで桁を戻すこともできます。

5. もう一度【エンター】ボタンを押します。
相手局に自船の現在位置を送出します。



6. 【クリア】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



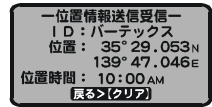
メモ

セットアップメニュー操作の「位置情報送信タイマー」を動作させると、最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報(現在位置:緯度経度)を自動的に送ります。自船の航跡を知らせたい場合に大変便利な機能です。詳しい設定方法は、42ページのセットアップメニュー操作「DSC設定(位置情報送信タイマー)」をご覧ください。

位置情報送信

『位置情報送信』を受けると...

1. 他船からの『位置情報送信』を受けると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報送信』を送出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度**【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



DSCログ (受信履歴ファイル)

本機は、受信した『遭難通報』を最大20メッセージ、『DSCコール』※を最大38メッセージ保存します。

保存方式は「先入れ先出し」方式で、最大数(遭難通報で20メッセージ、DSCコールで38メッセージ)まで保存したあとに新しいメッセージを受信すると、一番古いメッセージが自動的に消去され、常に最新のメッセージを保存します。

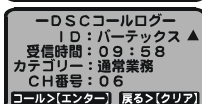
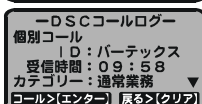
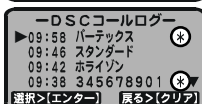
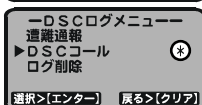
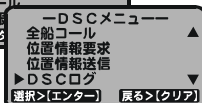
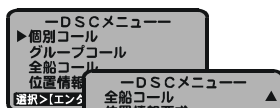
また、無線機から離れていたときに『個別コール』を受けた場合のように、未読のメッセージがある場合には、ディスプレイに“目”アイコンが点灯します。



※: 『個別コール』、『グループコール』、『全船コール』、『位置情報要求』、『位置情報送信』の5種類呼び出し方法を総称して『DSCコール』と呼びます。

DSCログの見かた

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「DSCログ」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して確認したい区分(「遭難通報」または「DSCコール」)を選び、【エンター】ボタンを押します。
未読のメッセージがある場合は、“*”のアイコンが点灯します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して確認したいメッセージを選びます。
未読のメッセージには、“*”のアイコンが点灯します。
5. 【エンター】ボタンを押すと、メッセージを表示します。
【▼】/【▲】ボタンで表示を上下に移動させ、内容の詳細を確認することができます。
確認したメッセージが『個別コール』の場合には、【エンター】ボタンを押すことで、呼び出しを行った局に対して『個別コール』を送出することができます。
6. 【16/9】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。

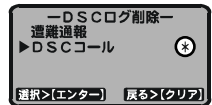
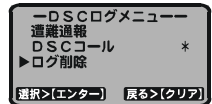
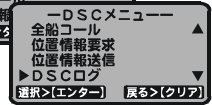
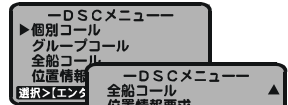


DSCログ (受信履歴ファイル)

DSCログの削除

保存されたメッセージは、保存数が最大数(遭難通報で20メッセージ、DSCコールで38メッセージ)を超えると、新しいメッセージを受信するたびに古いメッセージが古い順に順次に削除されていきますが、下記の操作を行うことにより、手動で削除することも可能です。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「DSCログ」を選び、【エンター】ボタンを押します。
3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「ログ削除」を選び、【エンター】ボタンを押します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して削除したいメッセージが保存されている区分(「遭難通報」または「DSCコール」)を選び、【エンター】ボタンを押します。
未読のメッセージがある場合は、“*”のアイコンが点灯します。
5. 【▼】/【▲】ボタンを押して削除したいメッセージを選びます。
未読のメッセージには、“*”のアイコンが点灯します。
6. 【エンター】ボタンを長押しすると、確認を発して選択したメッセージが削除されます
7. 【16/9】ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。



テストコール

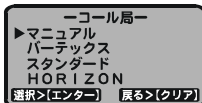
『テストコール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局にテスト信号を送出することができます。

1. 【コールメニュー】ボタンを短く押します。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して「テストコール」を選び、【エンター】ボタンを押します。

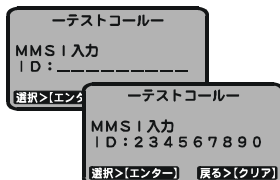


3. 【▼】/【▲】ボタンを押して「マニュアル」を選び、【エンター】ボタンを押します。

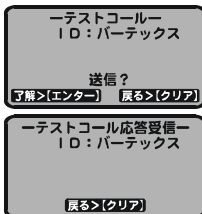


あらかじめ、テストコールを送りたい局（船舶局または海岸局）が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで【エンター】ボタンを押し、操作5.へ進みます。（登録方法は39ページの“DSC設定（個別アドレス帳）”を参照してください）。

4. 【▼】/【▲】ボタン（数字の選択）と【エンター】ボタン（桁の移動）を操作してテストコールを送りたい局のID番号（9桁）を入力し、【エンター】ボタンを長押しして確定します。
マイクロホンの【H/L】ボタンで桁を戻すこともできます。



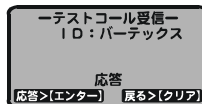
5. もう一度【エンター】ボタンを押します。
自動的に送信状態になって相手局にテストコールを送出し、その後、相手局からの応答を待ちます。
6. 呼び出した局からの『応答メッセージ』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイが右に示すような表示に変わります。
7. 【クリア】ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。
8. もう一度【クリア】ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



テストコール

『テストコール』を受けると...

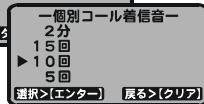
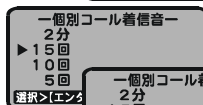
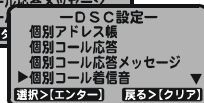
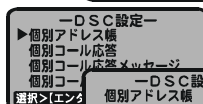
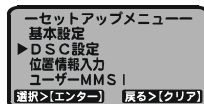
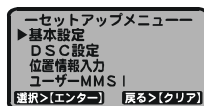
1. 他船からの『テストコール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『テストコール』を行った局のID番号(または船名)を表示します。
2. **【クリア】**ボタンを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【エンター】**ボタンを押すと、相手局に『応答メッセージ』を送ります。
4. **【クリア】**ボタンを押すと、通常の運用方法に戻ります。



セットアップメニュー操作

操作方法

1. 【コールメニュー】ボタンを長押しします。
セットアップメニューが表示されます。
2. 【▼】/【▲】ボタンを押して、変更したい項目が含まれる大項目(“基本設定”, “DSC設定”, “位置情報入力”, “ユーザーMMSI”)を選び【エンター】ボタンを押します。
3. “基本設定”または“DSC設定”を選んだ場合は、大項目内の変更項目を選択できるようになりますので、【▼】/【▲】ボタンを押して変更したい項目を選び、【エンター】ボタンを押します。
4. 【▼】/【▲】ボタンを押して設定を変更し、【エンター】ボタンを押します。
5. 【16/9】ボタンを押してセットアップメニューを終了します。



セットアップメニュー操作

	項目	機能説明	選択できる項目※
基本設定	照明	照明の明るさを調節します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 明
	コントラスト	ディスプレイのコントラストを調節します。	0 ~ 24 (12)
	シフト時間	『UTC時間』と『現地時間』の差を設定します。	-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00 (+09:00)
	タイムゾーン	GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。	国際標準時間 / 地域時間
	プライオリティチャンネル	プライオリティチャンネルを選択します。	全チャンネルから選択可能(CH16)
	スキャンタイプ	スキャンの動作方法を選択します。	プライオリティスキャン / メモリスキャン
DSC設定	操作音	ボタンを押したときに鳴る、操作音の音量を設定します。	OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4 / レベル5 / レベル6 / 高
	個別アドレス帳	個別呼出を行うときに使用する、アドレス帳の登録/変更/削除を行います。	-
	個別コール応答	呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
	個別コール応答メッセージ	呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。	応答可 / 応答不可
	個別コール着信音	呼び出し音の鳴る回数を設定します。	2分 / 15回 / 10回 / 5回
	グループアドレス帳	グループ呼出を行うときに使用するアドレス帳の登録/変更/削除を行います。	-
	位置情報送信タイマー	最後に『位置情報送信』を行った局に対して、一定時間の間隔で自局の位置情報を自動的に送信します。	マニュアル / 15分オート / 30分オート / 1時間オート
	位置情報応答	船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
DSC設定	DSC着信音	各種呼び出し音の設定を行います。	個別コール: ON / OFF グループコール: ON / OFF 全船コール: ON / OFF 位置情報要求: ON / OFF 位置情報送信: ON / OFF
	位置情報入力	自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で設定/送出することができます。	-
	ユーザーMMSI	自局のID番号(MMSI番号)の登録を行います。	-

※:太文字は、お買い上げ時に設定されている値です。

セットアップメニュー操作

基本設定 (照明)

機能：照明の明るさを調節します。

選択項目：OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 明

お買い上げ時：明

基本設定 (コントラスト)

機能：ディスプレイのコントラストを調節します。

選択項目：0 ~ 24

お買い上げ時：12

基本設定 (シフト時間)

機能：『UTC時間』と『現地時間』の差を設定します。

選択項目：-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00

お買い上げ時：+09:00

基本設定 (タイムゾーン)

機能：GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。

選択項目：国際標準時間 / 地域時間

お買い上げ時：地域時間

基本設定 (プライオリティーCH)

機能：プライオリティーチャンネル(優先チャンネル)を選択します

選択項目：全チャンネル

お買い上げ時：CH16(チャンネル16)

基本設定 (スキャンタイプ)

機能：スキャンの動作方法を選択します。

選択項目：プライオリティー スキャン / メモリー スキャン

お買い上げ時：プライオリティー スキャン

プライオリティー スキャン： プライオリティーチャンネル(優先チャンネル:お買い上げ時はCH16)とプリセットチャンネルを自動的に2順番に受信します

メモリー スキャン： プリセットチャンネルだけを自動的に2順番に受信します。

基本設定 (操作音)

機能：ボタンを押したときに鳴る、操作音の音量を設定します。

選択項目：OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4 / レベル5 / レベル6 / 高

お買い上げ時：レベル4

設定した操作音量は、受信音の音量調節に合わせて変化します。

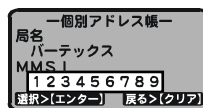
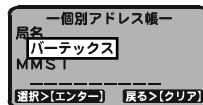
セットアップメニュー操作

DSC設定 (個別アドレス帳)

機能：個別呼出を行うときに使用する、アドレス帳の登録/変更/削除を行います。

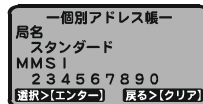
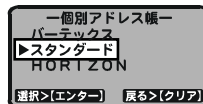
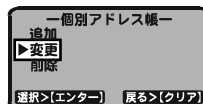
登録方法

1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「追加」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. 下記のボタンを操作して、登録したい局(船舶局または海岸局)の局名を入力します(最大11文字)。
使用できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字の3種類です。
【▼】/【▲】ボタン:文字の選択
【エンター】ボタン:桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン:桁の左方向移動
【クリア】ボタン:文字の消去
4. **【エンター】**ボタンを長押しします。
5. 下記のボタンを操作して、登録したい局のID番号(9桁)を入力します。
使用できる文字は数字だけです。
【▼】/【▲】ボタン:数字の選択
【エンター】ボタン:桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン:桁の左方向移動
【クリア】ボタン:数字の消去
6. **【エンター】**ボタンを長押しします。
7. 続けて他の局も登録するときには、上記の操作2. から6. を繰り返します。
8. **【クリア】**ボタンを押します。



編集方法

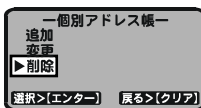
1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「変更」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して変更したい局を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
4. 以後の操作方法は上記の「登録方法」と同じです。



セットアップメニュー操作

削除方法

1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「削除」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して削除したい局を選びます。
4. **【エンター】**ボタンを長押しします。
削除されます。



DSC設定 (個別コール応答)

機能：呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目：自動 / 手動

お買い上げ時：自動

DSC設定 (個別コール応答メッセージ)

機能：呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。

選択項目：応答可 / 応答不可

お買い上げ時：応答可

DSC設定 (個別コール着信音)

機能：呼び出し音の鳴る回数を設定します。

選択項目：2分 / 15回 / 10回 / 5回

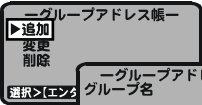
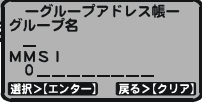
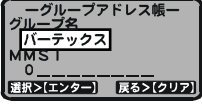
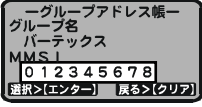
お買い上げ時：15回

セットアップメニュー操作

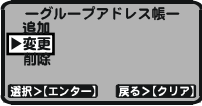
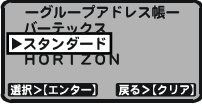
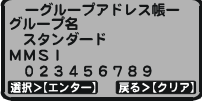
DSC設定 (グループアドレス帳)

機能：グループ呼出を行うときに使用するアドレス帳の登録/編集/削除を行います。

登録方法

1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「追加」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. 下記のボタンを操作して、登録したいグループ名を入力します(最大11文字)。
使用できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字の3種類です。
【▼】/【▲】ボタン: 文字の選択
【エンター】ボタン: 桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン: 桁の左方向移動
【クリア】ボタン: 文字の消去

4. **【エンター】**ボタンを長押しします。
5. 下記のボタンを操作して、グループ番号(9桁)を入力します(グループ番号は、初めの桁が“0”に固定されます)。
使用できる文字は数字だけです。
【▼】/【▲】ボタン: 数字の選択
【エンター】ボタン: 桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン: 桁の左方向移動
【クリア】ボタン: 数字の消去
6. **【エンター】**ボタンを長押しします。
7. 続けて他のグループ局も登録するときには、上記の操作2. から6. を繰り返します。
8. **【クリア】**ボタンを押します。

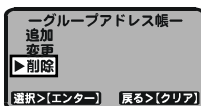
編集方法

1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「変更」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して変更したい局を選び、**【コール(エンター)メニュー】**ボタンを押します。
4. 以後の操作方法は上記の「登録方法」と同じです。
注:グループ番号の先頭桁は“0”に固定されており、変更することはできません

セットアップメニュー操作

削除方法

1. **【エンター】**ボタンを押します。
2. **【▼】/【▲】**ボタンを押して「削除」を選び、**【エンター】**ボタンを押します。
3. **【▼】/【▲】**ボタンを押して削除したいグループを選びます。
4. **【エンター】**ボタンを長押しします。
削除されます。



DSC設定 (位置情報送信タイマー)

機能： 最後「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報(現在位置：緯度経度)を自動的に送じます。自船の航跡を知らせたい場合に大変便利です。

選択項目： マニュアル/15分オート/30分オート/1時間オート

お買い上げ時： マニュアル

マニュアル：

自動的に「位置情報送信」は行いません。

「位置情報送信」を行う場合には、32ページを参考に、マニュアル操作で行ってください。

15分オート/30分オート/1時間オート：

選択した時間(15分, 30分, 時間)ごとに、最後「位置情報送信」を行った局に対して、自局の位置情報を自動的に送じます。また、ディスプレイに“ ”のアイコンが点灯します。



DSC設定 (位置情報応答)

機能： 船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目： 自動 / 手動

お買い上げ時： 自動

DSC設定 (DSC着信音)

機能： 各種呼び出し音の設定を行います。

選択項目： 個別コール： ON / OFF
グループコール： ON / OFF
全船コール： ON / OFF
位置情報要求： ON / OFF
位置情報送信： ON / OFF

お買い上げ時： 個別コール： ON
グループコール： ON
全船コール： ON
位置情報要求： ON
位置情報送信： ON

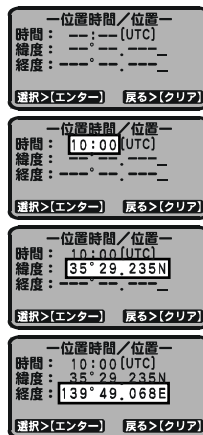
セッアップメニュー操作

位置情報入力

機能：自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で入力/送出することができます。

入力方法

1. **【ENTER】**ボタンを押します。
2. 下記のボタンを操作して、現在時間(国際標準時間, 24時間制)と現在位置(緯度/経度)を入力します。
【▼】/【▲】ボタン: 数字の選択
【ENTER】ボタン: 桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン: 桁の左方向移動
【クリア】ボタン: 数字の消去
3. **【ENTER】**ボタンを長押しします。
4. **【16/9】**ボタンを押すと通常が表示に戻り、ディスプレイに設定した時間と位置(緯度/経度)が表示されます。



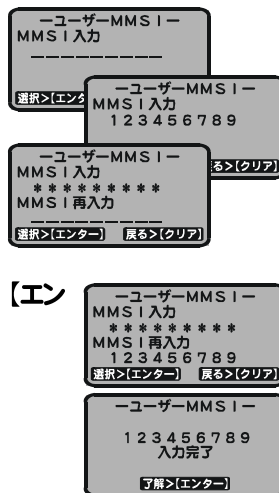
ユーザーMMSI

機能：自局のID番号(MMSI番号)の登録を行います。

免許状に記載された、お客様固有のID番号(9桁のMMSI番号)を登録します。

登録方法

1. **【ENTER】**ボタンを押します。
2. 下記のボタンを操作して、自局のID番号(MMSI番号:9桁)を入力します。
【▼】/【▲】ボタン: 数字の選択
【ENTER】ボタン: 桁の右方向移動
マイクロホンの**【H/L】**ボタン: 桁の左方向移動
【クリア】ボタン: 数字の消去
3. **【ENTER】**ボタンを長押しします。
4. 確認のため、もう一度自局のID番号(MMSI番号)を入力し、**【ENTER】**ボタンを長押しします。
5. **【ENTER】**ボタンを押して、登録完了です。



定格

一般定格

周波数範囲:	156.025 MHz ~ 162.000 MHz (詳細は次ページを参照してください)
周波数ステップ:	25 kHz
周波数安定度:	±10 ppm (−20 °C ~ +60 °C)
電波型式:	音声:F3E, DSC:F2B
アンテナ・インピーダンス:	50 Ω
電源電圧:	DC 13.8 V, マイナス接地
消費電流:	1 A (受信時) 300 mA (受信無信号時) 5.5 A (送信 25 W時) 1.5 A (送信 1 W時)
DSCフォーマット:	ITU-R M.493
入力NMEAフォーマット:	GLL / GGA / RMC / GNS
出力NMEAフォーマット:	DSC / DSE
使用温度範囲:	−20 °C ~ +60 °C
本体寸法(突起物を除く):	155 x 60 x 170 mm (幅 x 高さ x 奥行)
本体重量:	約920 g

送信部

送信出力:	25 W / 1 W
変調方式:	バリエابل・リアクタンス変調
最大周波数偏移:	±5 kHz
不要輻射強度:	80 dB (25 W), 66 dB (1 W)
S/N比:	約50 dB

受信部

受信方式:	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
中間周波数:	第一: 47.25 MHz, 第二: 450 kHz
受信感度:	0.25 μV (12 dB SINAD)
選択度:	12 kHz / 25 kHz (−6 dB / −60 dB)
近接チャンネル選択度:	約75 dB
相互変調歪:	約70 dB
S/N比:	約40 dB
低周波出力:	4.5 W @8 Ω for 10 % THD

チャンネル表

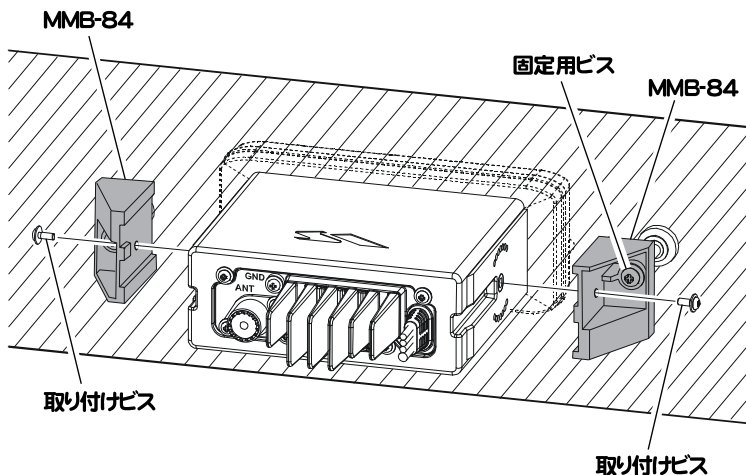
チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁等の海岸局用	70	—	156.525	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁等の海岸局用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間・海上保安庁海岸局*	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁等の海岸局用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	小型船舶同士・所属海岸局との呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	所属海岸局用
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
—	—	—	—	88	157.425	157.425	

※チャンネル“09”は、チャンネル“16”が使用中の場合に使用します。
免許状に記載されたチャンネルで運用してください。

埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”の使いかた

オプションの埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”を使用すると、本機を船舶の操作/パネルに埋め込んで設置することができます。なお、この際、この取扱説明書に付属している『テンプレート』を使用すれば、簡単に埋込場所の選定と取り付け穴の加工が行えます。

1. 付属のテンプレートを使用して、本機の埋込場所を選定します。
なお、埋込場所の選定ですが、操船に支障の無いよう、安全と操作性に配慮するとともに、船舶の操作/パネルの裏側に十分なスペース(奥行き: 約17 cm)があることを確認してください。
2. テンプレートに従って、操作/パネルに取り付け穴(幅131 mm, 高さ51 mm)をあけます。
3. 取り付け穴に本機を挿入し、“MMB-84”に付属している取り付けナビスで、“MMB-84”を本機に取り付けます。
4. “MMB-84”の固定用ビスをまわして、本機を船舶の操作/パネルにしっかり固定します。
5. 以上で取り付けは終了です。11ページの『周辺機器の接続』を参考に、アンテナ、電源、GPS受信機(必要に応じて、外部スピーカー)を接続します。



付属品・オプション

付属品

- **GX1100J** 無線機本体
- 電源ケーブル(6Aヒューズ付き)
- 取付用ブラケット
- 取扱説明書
- 保証書

オプション

- MLS-300** 大音量外部スピーカー
- MMB-84** 埋込設置用固定ブラケット

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

©2017 八重洲無線株式会社
無断転載・複写を禁ず

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル



E M 0 3 7 N 0 0 3